

社会参加・自己実現につながる 日本語活動を考えよう

— 「できること (Can do)」の
視点を取り入れる —



令和6年度

課題別
講座

日本語教室ボランティア研修

現在、県内における在留外国人数は過去最多となり、地域の日本語教室に参加する外国人住民も多様化しています。

多様化する外国人住民一人一人の
ニーズに寄り添った日本語活動を
考えるにはどうしたらいいだろう？



令和7年

日時

2月11日 火・祝

13:00～15:30
(入室開始 12:45)

方法

オンライン 開催

定員

100名 (先着受付)



多様な文化的背景を持つ外国人住民が
日本で自分らしく暮らし活躍できるよ
う、どのように応援したらいいだろう？

教室活動に「できること (Can do)」の視点を
取り入れることが、これらの課題解決に繋がるかも
しれません。本講座では、外国人住民の社会参加・自
己実現につながるCan doベースの活動例をご紹介
し、「できること (Can do)」の視点を取り入れた
活動を一緒に考える参加型ワークを行います。自分
たちにどんな活動ができるか、一緒に考えてみませ
んか？みなさまの参加をお待ちしています！

受講料
無料

- 事前申込制 -

対象

県内在住/在勤/在学の方で以下のいずれかに該当する方

- ・日本語教室でボランティア活動をしている方
- ・生活分野の日本語教育に関心のある日本語教師

※日本語教育等の活動が未経験の方でもご興味がある方はご相談ください。

詳細・お申込み方法については、裏面をご覧ください。



彩の国
埼玉県

主催： 埼玉県 / (公財) 埼玉県国際交流協会

プログラム内容

前半 パネルトーク

(休憩)

後半 グループワーク

講義・まとめ

社会参加・自己実現につながる日本語活動

講師5名が様々な具体事例を交え、テーマについてお話しします。

「できること (Can do)」の視点を取り入れた活動を考えよう

(※小グループでの、参加型ワークを行います。)

「日本語教育の参照枠」や「生活Can do」の活用等



講師紹介

＼埼玉県地域日本語教育コーディネーターの5名が講師を務めます！

グループワーク進行、
講義・まとめ担当



関崎 友愛 氏

- ・日本語サービスYOU&I 代表
- ・国際交流基金 日本語国際センター客員講師
- ・文部科学省 地域日本語教育アドバイザー



芳賀 洋子 氏

- ・多文化・多世代のあそび 捨てんきりん代表
- ・多文化社会コーディネーター



郭 育子 氏

- ・吉川市国際友好協会 学習部会長
- ・吉川市小中学校 日本語学習支援スタッフコーディネーター
- ・吉川市社会教育委員



高柳 なな枝 氏

- ・地球っ子クラブ2000代表
- ・さいたま市日本語指導員
- ・聖心女子大学、桜美林大学大学院 非常勤講師



松尾 恭子 氏

- ・こども日本語学習クラブ コーディネーター
- ・公益社団法人国際日本語普及協会 所属

参加申込方法



さいたまっち

コバトン

右記の二次元コードコード、または下記URLの申込みフォームからお申込みください。

申込フォームURL <https://x.gd/lkmZM>

【事前申込制】 お申込み〆切：令和7年2月5日（水）



※ 定員に達し次第、受付終了いたします。

※ お申込みをされた方には、受付完了メール、及び後日ご案内メールを送信いたします。

お問合せ

(公財) 埼玉県国際交流協会



TEL 048-833-2992

Eメール jigyo@sia1.jp

WEB <https://sia1.jp/>



文部科学省

この事業は令和6年度地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業として実施しています。